



笑顔！松本だより

自ら、そして仲間と、
未来をたくましく生きる力を身につける子



令和7年度7月学校評価について、お知らせします。

福井市松本小学校 学校だより
令和7年9月10日 第6号
TEL 22-8813 FAX 22-8892
Mail matsu-e@fukui-city.ed.jp

令和7年度 福井市松本小学校 学校評価1回目(7月)

→福井市共通評価項目(B) ※数値はAとBの合計

重点目標	スクールプラン数値目標	7月	R6	児童	7月	R6	保護者	7月	R6	教職員
松本っ子みんなの仲間作り	11 自他を大切に、ともに取り組んでいる(児童90%)	96	98	みんなで何かをするのは楽しい。	92	93	・学校は、子どもたち一人一人を大切に指導している。市・教員は、自他を大切に、関わっていくことが育ってきていると感じる。	100	96	自分は、児童が自分や友達のことを大切に、つながり合って共に取り組んでいけるような環境づくり、人間関係づくりに努めている。
	12 特活・総合的な学習・行事などで場を保障した(教師100%)			21対応			11対応	100	100	本校は、特別活動・総合的な学習(生活科)・行事などで、子どもが主体的に活動できるような場を保障した。
	市	89	96	道徳の時間には考えを深めることができている。			11対応	100	96	本校は道徳の授業時間を確保し、心を見つめさせたり生き方について考えさせたりする指導に努めている。
自分たちの考えを自分たちで発信・実行する児童と教職員	21 自分たちの課題に気づいたり、取り組んだりしている(児童90%)	93	96	・学校生活での自分たちの課題に気づいたり、話したり、決まったことを取り組んだりしている。 ・自分たちのことを自分たちで考えて決め、実行しようとするのは、大切だと思う。	96	95	児童が自分たちの課題を「自分事」としてとらえ、よりよい方向に進むよう考え、決めたことを実行しようとするのは、子どもの成長にとってよいと感じる。	89	100	自分は、それぞれの発達段階に応じて、児童が自分たちの課題に気づき、自分たちで考えて決め、実行していくような支援をしている。
	22 将来の夢や目標をもち、本校は、児童が夢や目標をもち実現に向け努力するよう、全教育活動とつながるキャリア教育に力を入れている(教師100%)	89	90	将来の夢やめざす目標をもちている。	62	63	我が子は、将来の夢やめざす目標をもちていると感じる。	95	78	本校は、児童が夢や目標をもち実現に向け努力するよう、全教育活動とつながるキャリア教育に力を入れている(教師100%)
	23 郷土福井(松本)を大切にしたい(児童95%) ・本校は、児童がふるさと松本とつながりを持ち、関心を高めたり大切に感じたりする活動に、意欲的に取り組んでいる(教師100%)	94	97	ふるさと福井である松本を大切にしたいという気持ちをもっている。	66	63	我が子は、ふるさと福井や松本を大切にしたいという気持ちをもっていると感じる。	95	65	本校は、児童がふるさと松本とつながりを持ち、関心を高めたり大切に感じたりできる活動に、意欲的に取り組んでいる(教師100%)
	24 自分にはよいところがある(児童90%)	84	87	自分にはよいところがある。	96	93	学校だより・授業参観・懇談会等を通して伝えられた学校教育目標や「つきたい5つの力」は適切だと感じている。 ①自分を知り、信じる力 ②相手を大切に、関わっていく力 ③自分の考えをもち、伝える力 ④失敗を恐れず、挑戦する力 ⑤仲間と協働し、感動する力	100	96	・自分は、児童一人一人に応じ、自己肯定感を伸ばす土台としての「分かった！楽しい！」授業作りにより、意欲的に取り組んでいる。(教師100%) ・自分は、教育目標やつきたい力について理解し、5つの力をつけることを意識して教育活動に取り組んでいる。
	25 児童につきたい力を意識して、教育活動を提案・計画・実践した(教師100%)	88	90	・授業に自分から進んで(主体的に)取り組んでいる。 ・授業がよく分かる。 ・先生は授業内容を一生懸命教えてくれる。	89	94		100	96	自分は、子どもたちの効果的な学びのために、PC、タブレットなどのICT機器を使用している。 アほぼ毎日 イ週3回以上 ウ週1回以上 エ月1回以上 オ月1回未満
	市 C	ア37(17) イ37(29) ウ8(39) エ1(13) オ17(2) ※()はR6結果		授業で、PC、タブレットなどのICT機器を使っている。 アほぼ毎日 イ週3回以上 ウ週1回以上 エ月1回以上 オ月1回未満			ア53(32) イ37(27) ウ5(32) エ0(9) オ5(0) ※()はR6結果			
丁寧な支援と丁寧な説明で	31 学校が楽しい(児童93%)	96	97	学校が楽しい。	94	92	我が子は、学校生活を楽しくしており、友人関係も良好である。	100	100	自分は、児童の様子を日頃からよく見たり、継続的な言葉かけなどの関わりをもったりして、児童が楽しいと思える学校(学級)づくりに努めている。
	32 学校の考えが適切に伝えられている(保護者90%)			25対応	94	91	・学校は、学校だより・授業参観・懇談会等を通して、保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えている。 ・教職員定時退庁日ははじめとする働き方改革の取組を理解できる。	100	100	本校は、スクールプランに基づき、目指す子どもの姿の実現に向けて協働して取り組んでいる。
	33 学校全体で児童理解・支援につなげた(教師100%)	86	85	いじめを見たら、大人に知らせたり、止めたりすることができる。	87	82	子どものことで、気軽に学校に相談できる。	100	100	本校は、関係機関と連絡を取ったり、校内で情報を共有したりして、気になる児童に十分な支援を行っている。
	市	98	96	交通安全や生活面の安全に気をつけて生活している。	93	91	学校は、災害対応訓練や不審者への対応、交通安全、熱中症予防など、安全面について適切に指導している。	100	100	本校は、登下校時の安全や災害時・不審者の対応、熱中症の予防等、適切に指導を行っている。

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない (Eは保護者のみ)

(4)ICT活用について

児童評価で、ア「ほぼ毎日」イ「週3回以上」の合計は74%です。ただし「読む・書く」を中心に学習を進めている1年生を除くと、ア・イの合計は87%となりました。昨年度の46%からは、格段に伸びていることが伺えます。また、教職員評価でア・イの合計は90%となっています。児童の学びをより深めるための一つの手段として、「ロイノート」などの情報共有アプリを使って、授業をはじめとする様々な活動で活用しています。今後も、タブレットを活用したより効果的な学習活動のあり方を考え、実践を積んでいきます。おうちの方でも、タブレットをどんな風に使っているのか、お子様に聞いてみてくださいね。



「7月」と書いてある欄の数字が今回の結果(%。小数点以下四捨五入)です。「R6」には昨年度12月の数値も載せ、比較できるようにしました。「児童」「保護者」「教職員」についてご覧ください。

(1)「児童」評価について
「学校が楽しい」96%、「みんなで何かをするのは楽しい」96%、「学校生活で自分たちの課題に気づいたり、話したり、決まったことを取り組んだりしている」93%と、主体的に考え、みんなとつながりながらありたい姿に向かう過程そのものが、「楽しい」という気持ちにも影響を及ぼしていると考えています。

「自分にはよいところがある」84%、「将来の夢や目標をもちている」89%、「ふるさと松本を大切にしたい」94%です。ポジティブ教育の根幹は『全ての教育活動で自己肯定感・有用感を育むこと』にあります。授業はもちろん係・委員会活動、縦割り班活動、ふるさと学習など、様々な機会から自分のよさに気づき、さらには将来の目標や夢を考える松本っ子を育みたいのです。

(2)「保護者」評価について
「学校は、保護者に学校教育方針や教育内容を適切に伝えている」94%とご理解ご支援を賜り、深く感謝申し上げます。今後もお子様の安心安全な学校生活のため、保護者の皆様と丁寧な連携(相談・説明・児童支援)を行って参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

(3)「教職員」評価について
「本校は、児童が夢や目標をもち、実現に向け努力するように、全教育活動とつながるキャリア教育に力を入れている」95%、「本校は、児童がふるさと松本とつながりを持ち関心を深めたり大切に感じたりできる活動に、意欲的に取り組んでいる」95%です。昨年度の数値から伸びています。『子どもの学びと大人の学びは相似形』と言われる。これら共有の目標のもと、私たち教職員が学び続け、主体でつながっていきます。